

腎生検によらない血清糖鎖異常 IgA ならびに関連免疫複合体測定による IgA 腎症診断スコアリングシステムの実用化に向けた研究

1. 研究の対象

2012 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日に腎生検が施行された患者

2. 研究目的・方法

目的： IgA 腎症患者に特有な血液や尿の異常を検出することで腎生検（腎臓に針を刺して行う検査）を行わずに IgA 腎症の診断と病理学的な重症度を評価できるシステムの開発とその臨床現場での活用を目的としています。このシステムが活用できるようになると外来で血液と尿の検査を受けるだけで IgA 腎症の診断や重症度の判定ができることになり患者の負担が大幅に軽減できることが期待されます。

方法： 腎生検時（エントリー時）に以下の項目を調査、測定する。

研究に用いる試料・情報の種類

以前に入院した際に得られた以下の患者情報と血液、尿、病理のデータを用います。

- ・ 基本情報：患者カルテ番号、年齢、性別、既往歴、検尿異常指摘から腎生検までの期間、
血圧、血液検査と検尿検査のデータ
血液と尿にみられる IgA 腎症患者特有の異常な IgA と関連物質
- ・ 腎生検組織所見が判明後、診断と腎病理所見について調査を行なう。

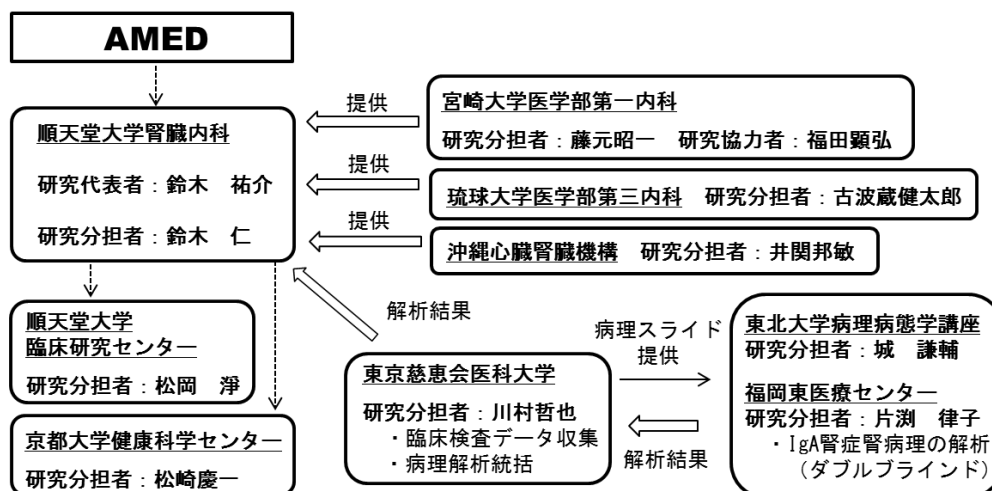
研究期間： 琉球大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会承認日～2020 年 4 月 30 日
この研究は琉球大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を受けています。

4. 外部への試料・情報の提供

順天堂大学腎臓内科へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。試料及び情報は、個人識別コードを用いて匿名化され対応表は、琉球大学の研究責任者が保管・管理します。

個人情報管理者：古波蔵健太郎

5. 研究組織



6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、解析後や研究発表後のお申出については対応できない場合もありますのでご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部

准教授 古波蔵 健太郎

電話：098-895-1341

研究責任者・研究代表者：

琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部

准教授 古波蔵 健太郎